



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	(予定)ISO14001やエコアクション21は取得していないため、今後エコアクション21の取得を検討していきたい			3.9		6	7			12	13.3	14	15					
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	(予定)環境の取り組みに関する開示を行っていないため、今後適切に開示していきたい									12.6								
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	剪定した木材を薪として無料提供するなど、持続可能なエネルギー活用の推進に努めている						7.2				13							
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	種苗の仕入先や取引先など適正に管理し、非合法的な調達を行っていない業者との取引を継続している									12.2	13	14	15					
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	(予定)汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げているが、明文化していないため今後明文化していく														16 16.5			
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	(予定)不正競争行為に関与することを禁止しているが、明文化していないため今後明文化していく														16			
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当社は知的財産を取得していない							8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社員のマイナンバーに関する情報はパスワードとカギにより二重ロックし、顧客情報についても専務が厳重管理している													16			
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社は紛争鉱物を取り扱う業務、ならびに取り扱う業者との取引を行っていない													16			
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)サプライチェーン管理は実施していないため、今後事業者と話し合っていきたい					5		8	10	12	13	14	15	16	17		
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	剪定に安全性を脅かす場合は高所作業車を使用するなど、常に安全性の配慮を行なっている			3.9						12.4							
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	(予定)植栽が枯れた場合の保証などを実施しているが、今後個人宅にも拡大していきたい								9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	工場の緑地化や個人宅の植栽スペース設置など、常に環境に配慮したサービスを徹底している						6			12	13	14	15				
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	温暖化抑制に資する植栽やグリーンカーテン、屋上緑化など、環境問題という社会的な課題を解決するためのサービスを提供している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																							
32	社会貢献 地域貢献	□ 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	入学式や新築の記念植樹など、常に地域貢献の視点で事業を行なっている				4					9		11	12		14	15		17		
33		□ 【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	自社従業員の消防団活動等による地域貢献、および役員のボランティア活動など、積極的に社会貢献活動に取り組んでいる				4							11			14	15		17		
34		□ 【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	公共施設の県産材使用など、地域資源の積極的利用に取り組んでいる									8	9		11	12	13					
35		□ 【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	個人面談による理念・ビジョンの共有、および月1回の経営目標共有の場を設けている									8	9								17	
36		□ 【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	(予定)雇用契約に法令遵守の文言を明記しているが、今後は勉強会などでさらに倫理の浸透を図ってきたい																		16	
37		□ 【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	専務が窓口となり、対応を図っている																		16	
38	組織体制	□ 【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	地域との長年にわたる信頼関係の構築、および災害復旧の対応など、ステークホルダーとの対話を行なっている																		16	17
39		□ 【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	(予定)現状ではリスクマネジメントを実施していないため、今後リスク要因の特定・把握に努めていく																		16	
40		□ 【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	SDGsと自社の理念に基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握し、対応に取り組んでいる																		16	
41		□ 【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続計画(BCP)を策定し、突発的な事故や災害などへの対応を図っていく										9		11		13	13.1		16		
42		□ 【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	(予定)事業承継に伴い、承継計画を作成していきたい									8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)